

# 平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Cコート	第6試合 16:30~	
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>県立市ヶ尾</b> 神奈川 5位		95 { 31 1Q 21 } { 12 2Q 25 } { 22 3Q 18 } { 30 4Q 30 }	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>樹徳</b> 群馬 2位		

## 【Bブロック】

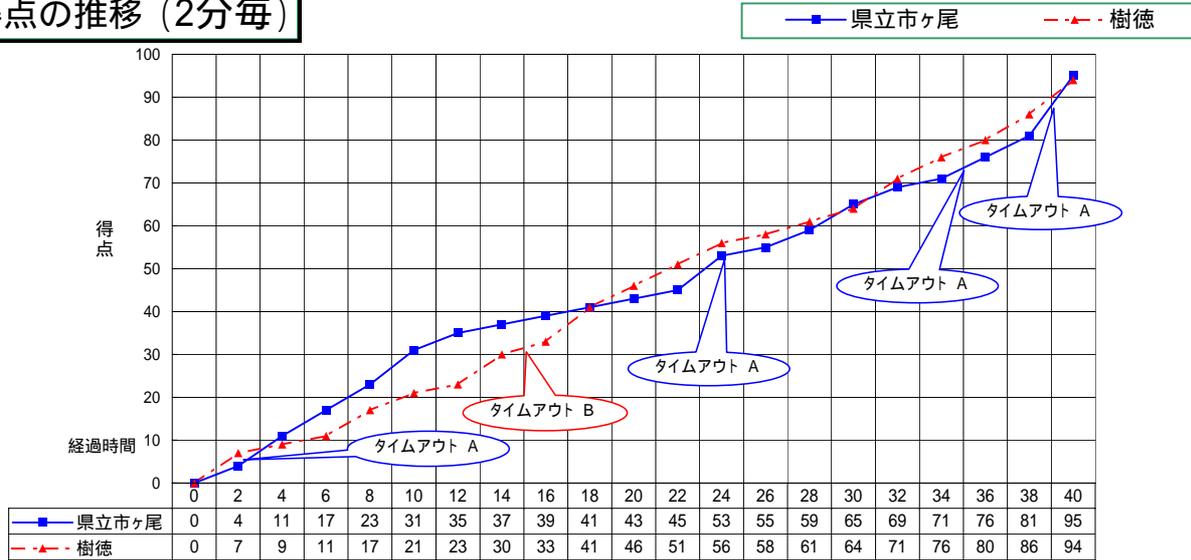
主審: 塚田 剛(茨城) 副審: 秋葉 智(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	蜂谷 航	9	1	3		4
	5	岡 智宏	21	5	3		1
	6	鈴木 秋斗					
	7	國本 勝太	26	2	10		3
	8	森 雅俊					
	9	新谷 和久					
	10	皆川 翔輝					
	11	青木 強					
	12	諫山 侑矢	18		7	4	1
	13	成田 大貴					1
	14	金子 健太					
	15	西山 僚平	6		3		4
	16	加藤 太一	15	1	6		3
	17	武藤 卓也					
	18	奥山 貴生					
コーチ		内藤 学					
合計			95	9	32	4	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	松島 裕称	31	5	8		1
	5	深澤 祥典					
	6	桑子 和樹					
	7	飯塚 岳寛	14		7		4
	8	川島 拓					
	9	若林 一貴					
	10	下石 将希					
	11	丹羽 智紀					
	12	高野 史	4		2		3
	13	藤重 直希	6	2			
	14	小倉 康彰	15	2	4	1	3
	15	細田 晃大					
	16	田名網 和貴	9		4	1	1
	17	高橋 諒多					
	18	高桑 悠	15		7	1	
コーチ		小野 澄一郎					
合計			94	9	32	3	

:スターター / :出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

## 得点の推移 (2分毎)



戦評 記入者: 安達 准一

Bブロック2回戦、ハーフコートマンツーマンの市ヶ尾に対するはオールコートマンツーマンの樹徳。  
 第1P序盤は、樹徳のオールコートマンツーマンが効き、開始1分半で7得点。無得点に抑えられていた市ヶ尾は、早めのタイムアウト。これで落ち着きを取り戻し、蜂谷、岡がブレイクに積極的に参加、切り裂かれた樹徳のディフェンスが、ローテーションをする間も与えず得点を重ねる。市ヶ尾が一気に走り、市ヶ尾31 - 21樹徳と逆転し、第1P終了。  
 第2P残り6分、樹徳 松島のスティールからブレイク。藤重につなげ3Pが決まる。さらにディフェンスリバウンドに集中を欠いた市ヶ尾の隙をつく。松島、藤重の3P、松島のドライブから 田名網へのあわせなどで流れを引き戻した樹徳が追い上げ、市ヶ尾43 - 46樹徳と再逆転を果たし、前半終了。  
 後半、譲らぬ両者の意地と力は第4P残り3秒まで伯仲する。一進一退の第3Pを経て、第4P。まず抜け出したのはハーフコート2 - 1 - 2のゾーンディフェンスに切り替えた樹徳。残り3分から1年生センター 高桑が、ハイポスト、ローポストにボールを要求しゴール下をねじ込む。残り2分の時点で、市ヶ尾79 - 86樹徳とリードを奪い、勝負を決するかに思えたが、市ヶ尾 岡がスティールを2つ、3Pシュート2本をこの2分間にまとめ残り8秒で、市ヶ尾93 - 94樹徳と追いつく。最後の望みを託したボールは残り3秒で市ヶ尾1年 加藤へ。本日のシンデレラボーイによって放たれた左45度からのミドルシュートはきれいな弧を描いてリングに吸い込まれる。ついに決着した熱戦は、最終スコア市ヶ尾95 - 94樹徳。市ヶ尾が激戦を制した。